

ジブチ政治・経済月例報告  
(2020年1月・2月・3月)

令和2年4月  
在ジブチ日本国大使館

**1 新型コロナウイルス**

●政府による新型コロナウイルス（COVID19）対策

3/18 大統領府は、ジブチ離発着のすべての商用機の運行停止を発表。

3/23 設備運輸大臣は、2週間の国境閉鎖(陸空海。物資輸送は除く)を発表。

3/24 大統領は全国民に対し、自宅待機令を発令した。

3/26 教育省は、コロナ対策に鑑み、私学校含むすべての学校を4月9日まで休校とすることを発表。

●CACインターナショナル・バンクによる資金援助

3/7 CACインターナショナル・バンクは、新型コロナウイルス（COVID19）対策支援として、ジブチ保健省に2000万ジブチフランを、社会問題・連帯省へ1000万ジブチフランを供与した。

●中国・AU専門家によるテレビ会議へのジブチの参加

3/20 中国保健委員会は、AU22カ国と中国の医療専門家間で、新型コロナウイルス（COVID-19）予防対策に関するテレビ会議を開催し、ジブチも同会議に参加した。

●中国企業アリババによるアフリカ支援

3/23 中国企業アリババは、エチオピア航空の協力のもと、コロナ支援策として、ジブチ含むアフリカ41カ国に対しマスクや保護服、検査キット等の緊急支援物資を供与した。

●社会問題・連帯省による食糧支援

3/28-3/30 社会問題・連帯省は、新型コロナウイルス（COVID19）対策による経済的影響の最も大きいジブチ市内の貧しい世帯に対し、食糧クーポンを供給した。

●IGADテレビ首脳会談の実施

3/30 ゲレ大統領はIGADテレビ首脳会談に出席し、国境の安全保障やバッタ被害状況に加え、新型コロナウイルス（COVID19）対策について協議した。IGADは同感染症対策として、対コロナ・アフリカ基金の設立を決定した。

●カート（Khat）輸入会社によるコロナ対策支援

3/31 カート輸入会社SOGIK (Société générale d' Importation de Khat) は、新型コロナウイルス (COVID19) の支援として、1000万ジブチフランを緊急対策基金に供与した。

●新型コロナウイルス (COVID19) 緊急連帯基金の発足

3/31 閣僚級テレビ会議にて、コロナ対策に係る緊急連帯基金の設立が決定し、初期資本として10億フランの国庫が出勤される。また、ゲレ大統領が1千万フランを、イリヤス経済・財政大臣が500万フランを自己資金から同基金へ供与する。

## 2 内政

●国民保健開発計画 (2020-2024) 発表

3/4 ジブチのグローバルヘルスケアの促進、ひいては、「ジブチ・ビジョン2035」(ジブチの長期開発計画)の実現を目指すための、国民保健開発計画(2020-2024)が発表された。発足式典には、ワルサマ保健大臣、イリヤス財務・経済大臣及びイスマン労働大臣等に加え、WHO、世銀、UNICEF、WFP等国際機関も参加した。

●産休期間の延長

3/3 国際労働機関の母性保護条約(第183号)「母性休暇の期間14週間を確保」について、第四回ジブチ閣議で承認された。

## 3 外政

●紅海・アデン湾沿岸地域アラブ・アフリカ理事会の設立

1/7 サウジアラビアのリヤドにて、アラブ・アフリカ8カ国(ジブチ、サウジアラビア、エジプト、スーダン、イエメン、ソマリア、ヨルダン、エリトリア)による外務大臣会合が開催され、紅海・アデン湾に面するアラブ・アフリカ諸国理事会が設立された。

●中国・王毅外相によるジブチ訪問

1/9 中国の王毅国務委員兼外交部長がジブチを訪問し、ゲレ大統領やユスフ外相、ラドワン通信大臣やアミナ住宅大臣等と会談。

●ジブチ・エチオピア国境管理会合

1/14 ムーミン内務大臣とアルマス・エチオピア平和・安全大臣が、両国国境付近の安全強化のため、国境管理会合を開催。

●2020年国連安保理非常任理事国選挙に関する支持要請

1/16 在キューバ・ジブチ大使は、ニカラグア信任状捧呈のためダニエル・オルテガ・ニカラグア大統領を謁見時に、ジブチの2020年国連安保理非常任理事選挙立候補の支持要請に関するゲレ大統領発オルテガ大統領宛親書を手交した。

●国連大使団によるジブチ訪問

1/26 モロッコ、マルタ、ジョージア、バヌアツ、ツバルの国連常駐代表がジブチを訪問し、ユスフ外務・国際協力大臣と会談。

●コモロ大統領によるジブチ訪問

1/27 アザリ・コモロ大統領がジブチを訪問し、ゲレ大統領と会談。二国間関係等について協議した。

●教育分野国際会議開催

1/27-29 “第三回バランスのとれたインクルーシブ教育に関する国際会議（III Forum BIE2030）”がジブチで開催され、ジブチ、コモロ、ウガンダ、トーゴ及びニジェールの首脳が、共同宣言を採択した。同国際会議は、教育支援財団（Education Relief Foundation）主催のもと、40カ国以上の首脳及び閣僚が参加した。

●ブルハン国防大臣によるローマ訪問

1/29 ブルハン国防大臣はローマを訪問し、ロレンツォー・グエリーニ・イタリア国防大臣と会談。二国間軍事協力に関する合意署名を行った。

●ゲレ大統領によるAUハイレベル委員会総会出席

1/30 ゲレ大統領は、コンゴ（共）のブラザビルで開催されたAUハイレベル委員会に出席し、リビアの紛争解決等について協議した。

●インド海軍による献血支援

1/31 ペルティエ病院（ジブチ市内）において、35名のインド海軍等が献血支援を実施した。

●ゲレ大統領によるエチオピア訪問

2/7 ゲレ大統領は、第33回AU総会に参加するため、アディスアベバを訪問し、アビィ首相と会談した。

●チェコ防衛副大臣によるジブチ訪問

2/13 コペチニー・チェコ防衛副大臣は、ジブチを訪問し、ブルハン国防大臣及びワイス沿岸警備隊長官等と会談した。

●ロシア軍幕僚長によるジブチ訪問

2/18 オストリユフ・ロシア軍幕僚長はロシア防衛大臣特使としてジブチを訪問し、ワイス沿岸警備隊長官と会談した。

●トルコ・ジブチ閣僚級対話

2/18-19 ユスフ外務・国際協力大臣，イリヤス経済・財政大臣，ヨニス・エネルギー大臣，ハディ・ジブチ港フリーゾーン庁長官及びユスフ・ジブチ国民議会議長等は，トルコ・ジブチ閣僚級対話に出席するためトルコを訪問した。

●エジプト特使によるジブチ訪問

3/12 ジブチを訪問中のエジプトのアブドゥルファッターハ大統領特使は，ゲレ大統領宛の大統領親書をアブドゥルカデル首相へ手交した。また，両国の複数分野における協力関係について協議した。

#### 4 経済・開発

●燃料精製施設プロジェクト合意署名

12/31 ハディ・ジブチ港フリーゾーン庁長官は中国の深圳を訪問し，Singapor High Quality Energy Pte.との間で，ダメルジョグ工業地帯の燃料精製施設整備に係る協力合意に署名した。同プロジェクトにより，燃料補給用の低硫黄燃料油600万トンが生産される予定。

●エア・ジブチ，ジブチ-サウジアラビア間の航路開通

1/2 エア・ジブチによるジブチ・ジッダ便開通にあたり，開通式が行われた。同便は，週2便（木曜日と土曜日）より運航を開始予定。

●政府系投資ファンドの設立

1/7 2020年第1回閣議において，政府系投資ファンド（Fonds souverain de Djibouti）の設立が決定した。同ファンドは，公的余剰資金のより適切な管理及び将来に向けた貯蓄を通じ，収益性の高いプロジェクトへの投資やジブチの開発に資する事業に対する国内外の投資家との共同投資に活用される予定。

●キャンパス・フランス・ジブチの開設

1/8 フランスによるジブチにおける高等教育促進援助の一貫として，ジブチ・フランス文化センター（アンスティチュ・フランセ（Institut français））は，フランス留学情報窓口であるキャンパス・フランス・ジブチを開設した。

●ジブチ・フリーゾーン庁長官，エチオピアの運輸大臣と協議

1/7 ハディ・ジブチ・フリーゾーン庁長官は，ジブチを訪問中のエチオピアのダグマウィット運輸大臣含むエチオピア代表団と会談し，港湾の運営や肥料輸送路について協議したほか，国道一号線の再整備の重要性と緊急性についても再確認した。

なお、ジブチ港からエチオピア行きの肥料輸送路は、5ヶ月で140万トンの肥料がエチオピアの121地域に輸送される構想。

●DC T係争に係るロンドン国際仲裁裁判所による新たな裁定

1/10 ジブチ政府及びDPワールド間のドラレコンテナターミナル（DC T）のコンセッション契約解消に関する係争に関し、ロンドン国際仲裁裁判所は、改めてDPワールドに対するDC Tの返還を勧告する裁定を下した。それに対し、ジブチ政府は15日付プレスリリースをもって、同裁定を拒否。

●韓国医療団による難民支援

1/10 アディスアベバに拠点を置く韓国系の病院は、43名の韓国人医療団（アディスアベバ駐在）をアリアデ難民キャンプに派遣し、眼科、義歯、内科、婦人科、小児科、理学療法等の診察を無償提供した。

●世銀代表団によるジブチ訪問

1/10-1/12 世銀の代表団は昨年11月末の豪雨・洪水で被災したジブチ市内の地域や、スラム・ゼロ計画の対象地域であるバルバラ地区を視察したほか、イリヤス経済財政大臣含むジブチ政府関係者等と、今後のジブチ経済改造プログラムの優先項目について協議した。同会議では、若者や女性の雇用機会、教育分野における人財開発への投資、医療・社会保障、民間セクター強化のための構造改革等、政府の優先活動について協議された。

●エチオピア商業銀行ジブチ支店開行

1/12 エチオピア商業銀行（Commercial Bank）初のジブチ支店の開行式が行われた。

●IMF専門家による予算編成ワークショップ開催

1/14 シモン予算省事務次官は、IMFの専門家を招き、財政改革の枠組みの中で2日間に渡る予算編成ワークショップを開催した。同ワークショップには、各省庁の技術顧問や部長、予算省の幹部が参加。

●海上安全保障能力強化セミナー開始式

1/19 ムッサ設備運輸大臣は、ソマリアのマリアム運輸大臣と共に、地域海事訓練センター（DRTC）で行われるIMO主催海事協力セミナーの開始式に参加した。

●海底ケーブルDARE1・ジブチ開通

1/20 海底ケーブル“ジブチ・アフリカ地域エクスプレス（DARE1）”の開通式が開催。これにより、ジブチ、ソマリア、ケニア及びタンザニアがケーブルで接続される予定。

●南スーダンとエネルギー分野協力合意

1/21 ユニス・エネルギー大臣（天然資源担当）は、南スーダン産の石油のジブチ国内での精製及び輸出促進のため、ジブチを訪問中の南スーダンの石油大臣と、エネルギー分野における協力合意に署名した。

●インドによるジブチ大学への文化支援

1/21 ジブチ大学は、インド支援により、同大学の図書館の一角に美術、文化、哲学、経済等の情報収集施設“Coin Inde-Bharat EkParichay”を開設した。また、インドは、同施設へガンジーの教えに関する本を寄贈した。

●E D D（ジブチ電力公社）新アプリ運用開始

1/21 E D Dは、設立60周年記念に併せて、電力消費量を管理するためのアプリの運用開始を発表した。

●国際民間航空機関（I C A O）代表団によるジブチ訪問

1/21 I C A O代表団はジブチを訪問し、ムッサ設備運輸大臣やジブチ民間航空当局と協議した。

●クウェート赤十字による支援

1/22 クウェートの赤十字は、昨年11月の豪雨・洪水災害支援として、ダメルジョグの740世帯に服や掛け布団などの支援物資を配給した。

●ジブチと仏研究院による衛星設立計画

1/22 ゲレ大統領は、2年以内にジブチ国内衛星打上計画を目指すべく、モンペリエ大学の宇宙空間センター長及びVan Allen財団（モンペリエの科学研究財団）の所長と会談し、その技術的・教育的重要性について協議した。

●イスラム銀行による女性支援

1/23 イスラム開発銀行は、ジブチ北部オボック州のコール・アンガールの女性達に、15台の冷凍庫を供与した。これにより、水産物を適切に保存できるようになり、水産ビジネスの活性化を促進する。

●国内初のビデオ補助胸腔鏡下手術（V A T S）成功例

1/23-25 アルタ州の病院で、胸部未切開によるビデオ補助胸腔鏡下手術（V A T S）が成功した。同手術は、ジブチにおける外科技術強化のためジブチを訪問しているスペイン及びモロッコの外科医2名により実施された。

●ジブチ国外医療移送調整センターの開所

2/4 患者をインド等国外の医療機関へ移送するためのアドバイス・調整機関として、インド・チェンナイ SIMS 病院は新たに“SIMS Medical Information Center Djibouti”をジブチに開設し。

●ジブチ・サウジアラビアとのビジネス協力

2/15-2/16 ハッサン商業大臣はサウジアラビアを訪問し、マージド商業投資大臣と二国間経済協力プログラムに合意署名した。

●アラブ経済社会開発基金によるダメルジョグ発電所建設支援

2/8-19 アラブ経済社会開発基金（AFESD）の代表団は、ダメルジョグの発電所計画の事前評価のためジブチを訪問した。AFESDは同計画第1フェーズ（総事業費1.5億USD）に対し、約0.96億USDの融資を検討（返済期間30年、金利2%、7年間の据え置き期間含む）。

●IOMによる医療支援

2/23 IOMは、EUの支援により、地方都市含むジブチ国内の医療施設や、国道沿いに位置する医療ポスト等に医療機材を供与した。

●サウジアラビアによる支援

3/3 サウジアラビアは、昨年11月末に発生した豪雨・洪水の被災者3500世帯に対し、テント200個、掛け布団400枚、蚊帳1200個、食料700セットを供与した。

●商業大臣、ヨルダンを訪問

3/3 ヨルダンのアンマンを訪問中のハッサン商業大臣は、ヨルダンの商業・産業大臣と会談し、両国の貿易・投資分野における経済協力強化について協議、合意署名した。

●モロッコの企業、オイルターミナル開発協力協定締結

3/7 ハディ・フリーゾーン庁長官は、モロッコの港湾建設企業SOMAGECグループ代表と、ダメルジョグ工業地帯オイルターミナル開発（DDID）に係る覚書署名を実施した。DDIDプロジェクトは3つのフェーズで構成され、2018年から各5年間行われる。（プロジェクト内容：石油貯蔵ターミナル・原油精製所・LNGターミナル・船舶修繕所・乾ドック・発電所・建設資材集積場、埠頭）

●ジブチのインフラ・決済システムの近代化

3/18 ジブチ中央銀行は、世銀支援により、自動送金システム設置による決済システム近代化プロジェクトを開始した。これにより、国民の金融サービスへのアクセスを促進・改善し、ジブチの国際的金融のハブとしての地位を目指す。

## 5 日本との関係

### ● JICA・地熱プロジェクトの専門家によるジブチ訪問

1/26・27 JICAが進める地熱開発プロジェクトに係る合同調整委員会（JCC）開催のため、JICAプロジェクトチームがジブチを訪問し、ヨニス・エネルギー大臣を含むプロジェクト関係機関と協議した。

### ●豊田通商、エネルギー大臣と協議

2/10 豊田通商は、ジブチにおける再生可能エネルギー分野の現状を調査するためジブチを訪問し、ヨニス・エネルギー大臣を含む関係機関と会談した。

### ●海上保安監によるジブチ訪問

2/10 星海上保安監は、海上保安庁とジブチ沿岸警備隊が合同で実施する海賊護送訓練に参加するためジブチを訪問し、ワイス沿岸警備隊長官等と会談した。

### ●令和元年度草の根無償資金協力・契約署名式の実施

2/17 米谷大使は、令和元年度草の根無償資金協力「タジュラ女性自立支援センター増築計画」にかかる契約署名式を実施した。同計画では、約650万円を供与し、タジュラ市の女性自立支援センター内に新たな料理教室の建設及び調理機材を整備することで、女性の社会的及び経済的自立支援を目指す。

### ●JICAによるジブチ沿岸警備隊技術協力プロジェクト修了式の実施

2/27 JICAがジブチ沿岸警備隊に対して行う技術協力プロジェクト（第3フェーズ）の修了式が実施された。式典には、ワイス沿岸警備隊長官やJICA支所長が出席した。

### ●日本映画上映会の開催

2/27 日本国大使館は、国際NGO「SOS子どもの村」の協力のもと、タジュラ市のNGOセンターにて、日本映画上映会を開催した。

### ●平成30年度草の根無償資金協力引渡式の実施

3/3 米谷大使は、平成30年度草の根無償資金協力「タジュラ州ランダ村太陽光発電式井戸設備強化計画」の引渡式に出席した。本計画を通じて、ランダ村東部の住民及び小・中学校の水のアクセスを改善する。

### ●IMOによる海上安全保障情報共有セミナーの実施

3/3-3/5 国際海事機関（IMO）は、日本の平成30年度補正予算の枠組みで、ジブチ地域訓練センター（DRTC）を会場に、海上安全保障にかかる情報共有セミナーを開催した。同セミナーには、東アフリカ各国の海の安全を担う多くの関係者が参加し、地域の海上安全保障の維持・強化を目指す。

●東日本大震災追悼式典

3/11 ジブチ帰国研修員同窓会の主催により、東日本大震災による犠牲者への追悼式が開催された。式典には、ジブチ人の元 JICA 関係者研修参加者の方々や在留邦人、自衛隊海賊対処派遣部隊の方々に加え、ジブチ政府関係者や市民社会団体等が参加。

●令和元年度草の根無償資金協力・契約署名式の実施

3/15 米谷大使は、令和元年度草の根無償「ジブチ婦人連合幼稚園増設計画」の贈与契約署名式を実施した。本計画では、園児の受入れ数を増やし、質の高い教育を提供するため、年中教室、職員室、多目的室として、1棟3教室を建設する。

(了)